

此花区将来ビジョン2027（案）〈概要版〉

【計画期間】 令和6（2024）年度～令和9（2027）年度

「此花区将来ビジョン2027」とは、此花区の基礎自治行政を推進していく上で、区の目指すべき将来像と、その実現に向けた行動の方向性などをまとめたものです。

区の現状と課題

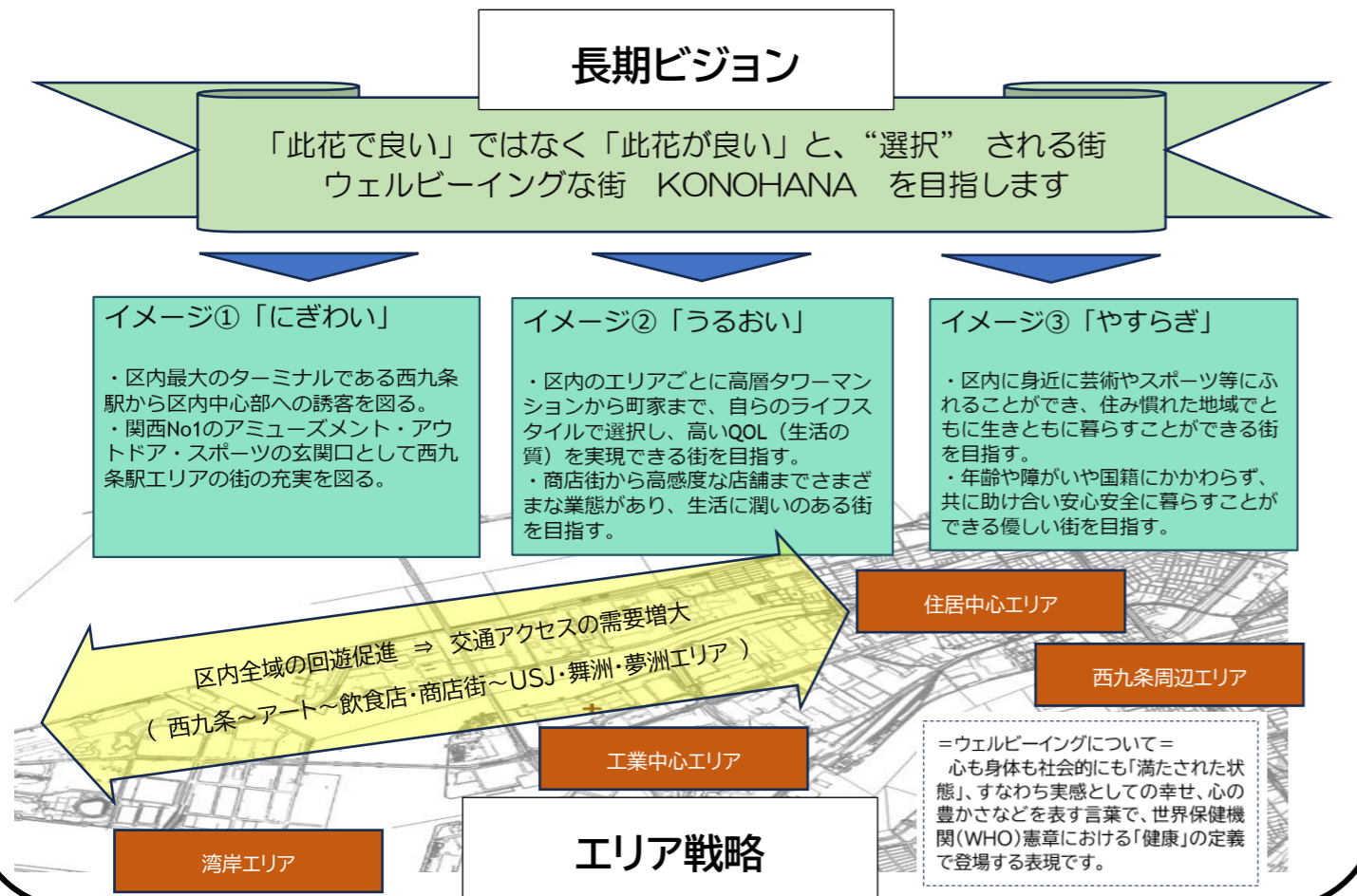
此花区は近年、人口は約6.5万人（※1）と横ばいで推移していますが、年齢別人口をみると50歳では約1,100人、20歳では約650人、0歳では約400人（※2）となっており、現状のままでは将来、著しい人口減少となり、空き家の増加、小学校の再編整備（統合）、飲食店をはじめとした商店の採算悪化など、好ましくない影響が予想されます。

そこで此花区は区民のみならず民間企業などとの対話を通じて、それぞれが保有する知識やノウハウを活用して、此花区に新たな価値を共に創る活動を促進し、「住むなら此花区！」「SDGs先進区」といわれる街を目標に、人口減少に歯止めをかけることが必要です。

（※1）出典：大阪市民政局「住民基本台帳人口・外国人人口」令和4～6年、各年3月末時点
 （※2）出典：大阪市民政局「住民基本台帳人口・外国人人口」令和6年3月末時点

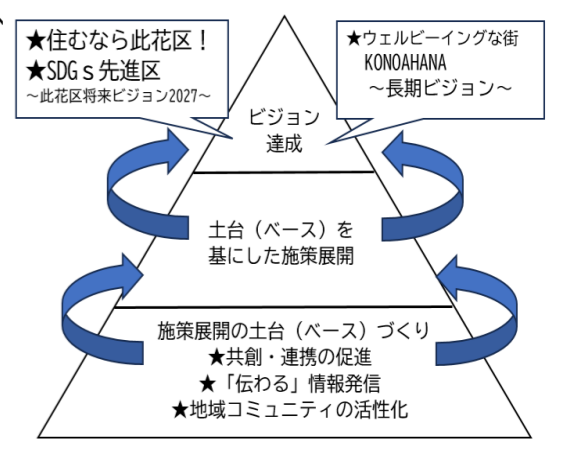
めざす方向性（長期ビジョン・エリア戦略）

此花区将来ビジョン2027を策定するにあたり、2050年を見据えた長期的な考え方（長期ビジョン）やエリア戦略をつぎのように設定します。



めざす方向性（体系）と目標設定にあたって

「此花区将来ビジョン2027」に基づく施策展開にあたり、まず、あらゆる施策展開に共通する土台として、「共創・連携の促進」「伝わる広報」「地域コミュニティの活性化」を設定します。そのうえで、各種施策を展開していくことによって、区の魅力向上などを図り、「住むなら此花区！」「SDGs先進区」といわれる街を目指します。また、各目標の設定にあたっては、PDCAを回転していくことなどで事業進捗度の可視化にも努めます。主な項目は以下のとおりです。



- (1) **共創・連携の促進**
 - 此花区の課題について、潜在する課題を含め課題設定から共に取り組み課題解決を実現する組織体を立ち上げます。
- (2) **「伝わる」情報発信**
 - 様々な媒体での情報を充実させるとともに、特に対象年齢層が広いLINEを利用するようにします。
- (3) **地域コミュニティの活性化**
 - 「此花区町会加入促進アクションプラン」を策定します。

土台（ベース）に基づく重点施策（主な項目を掲載）

- (1) **区内の活性化及び回遊促進**
 - 西九条駅エリアの街の充実を図るとともに、西九条駅からインバウンドなどの観光客を区内観光スポットに誘導します。
- (2) **安心・安全できれいで環境問題に取り組む街**
 - 災害時等に安全かつ迅速に避難行動計画を作成できるよう支援し、適切な情報発信を行います。
 - 区役所、区社会福祉協議会が協働し、取り残しのない安心して暮らせる地域を形成します。
 - 街の美化運動や環境問題に取り組むこととし、より多くの区民、区内企業の参加を促します。
- (3) **区民の健康の維持・向上**
 - 検診（健診）受診率の大阪市トップクラスを目指して官民共創で取り組みます。
- (4) **子育て環境の向上**
 - STEAM教育（※）の要素の取り込み、能力、豊かな創造力形成を目指します。
 - 虐待について、支援が必要な児童とその保護者に対して適切に支援します。

※STEAM教育：科学、技術、工学、芸術、数学の5つの頭文字からなる造語で、論理的思考力、課題解決力、創造力を養成する教育理念。



発行：此花区役所 総務課 / 電話 06-6466-9625
<https://www.city.osaka.lg.jp/konohana/index.html>
 2025年、此花区制は100周年。此花区役所公式LINEは右のQRコードから！

